

こ　ま　く　さ

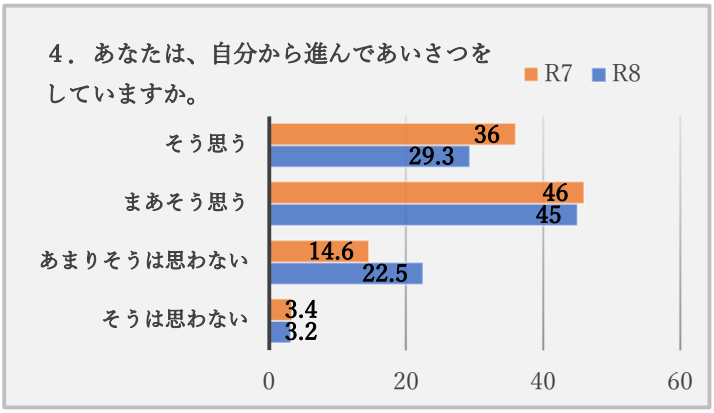
教育目標～夢に向かって　やさしく！かしこく！たくましく！

令和８年度
10月2日　No20
仙北市立生保内小学校
学　校　報

コミュニティースクール・学校運営協議会

学校の運営に保護者や地域住民の意見を取り入れる「学校運営協議会」の仕組みをもった学校のことを「コミュニティースクール」と呼んでいます。生保内小は、昨年度からコミュニティースクールでの活動を開始しています。「学校運営協議会」では、学校運営や学校に必要な支援等について協議をします。学校の思いと地域の願いを共有して、地域ぐるみで子どもたちを育む「地域とともにある学校づくり」を目指すというものです。

９月25日（金）に、今年度第2回目の「学校運営協議会」を開催しました。6月に行った子どもたちの「生活アンケート（3～6年）」の結果から、改善が必要と思われる「あいさつ」について協議を行いました。子どもたちの回答結果は次の通りです。



この結果から、子どもたちも「あいさつ」については「できていないと思う」と答えていることが読み取れます。

そこで、今回の学校運営協議会では、「あいさつが響く学校にするために」というテーマで協議を行いました。協議の中で、「子どもたちがあいさつをするためには、学校だけではなく、家庭や地域も大事なのではないか」という意見が出され、「学校でできること」「ご家庭にお願いしたいこと」「地域にむけて」の3つの視点について、さまざまな意見が出されました。

【学校でできること】
・あいさつの必要性について子どもたちと一緒に考える。
・中学生と一緒のあいさつ運動を行っているので、中学生のあいさつを手本にして、高学年が手本となる。
・縦割りのグループ、学年であいさつをがんばる。
・「ありがとう」や「すみません」等も言える子にしたい。
・先生方、大人からあいさつをする。等々

【ご家庭にお願いしたいこと】
・家族同士であいさつすることを心がけてほしい。

【地域にむけて】
・子どもたちがあいさつをがんばっていることを知ってもらって、子どもたちにあいさつを返してくれるような働きかけをしていきたい。

あいさつは「挨拶」と書きます。「挨」には心をひらく、「拶」には相手に近づくという意味があります。あいさつをされると、子どもは「自分が大事にされている」と安心し、自尊心が育っていきます。あいさつは家族の絆も深める役割があります。
（出典：静岡県 HP）

今年度の児童会目標は「あいさつ」を取り上げています。学校でも児童会を中心として「あいさつ」について今一度考えていこうと思います。また、「あいさつ」は、私たちの生涯にわたって必要なものだと考えます。生保内小の子どもたちには、あいさつのできる子に育ってほしいと思います。そして、あいさつを通して子どもたちの自尊心を育てるためにも、各ご家庭でのご協力をお願いします。

芸術鑑賞　影絵

25日（金）、「劇団・打ち出の小づち」の方が学校に来てくださり、影絵を見せてくれました。

「一寸法師」と「ブレーメンの音楽隊」のお話を影絵で見せてくれました。2つのお話は、劇団の方の自作の人形を動かすことで物語が進んでいきます。子どもたちがお話の中で人形を動かす場面があり、挑戦したい子がたくさんいて、大人気!!でした。子どもたちにとっては、影絵が新鮮だったようです。







感想発表
6年　Y.H　さん

（裏へ続きます）

【生保内小 子どもたちの活躍】

☆川柳☆

5年生が継続して行っている秋田弁入りの「川柳」です。

5年 S.A さん

しなりじえ
野球の試合
終わらない



※9月25日（金） NHK ニュースこまちで紹介されました。

☆剣道☆

《田沢湖志成館道場》

ライオンズ旗争奪 第50回 大曲仙北少年剣道錬成大会

令和8年9月27日（日） 於：大仙市ふれあい体育館

【団体の部】

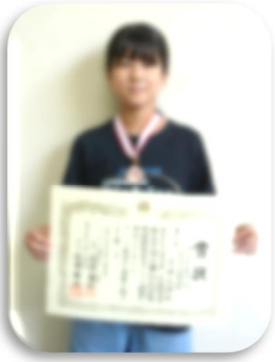
対 有隣館角館道場Ｂ Ｉ勝2敗



【個人の部】

5･6年女子の部

第3位 N.M さん



優秀選手賞

R.S さん



3･4年の部

第3位 Y.S さん

ベスト8 K.N さん

